

～今後の協議会の運営について～

◎協議会の事業計画遂行にあたっての意見等について

1. 各ブロック会議での意見について

(1) 非常時に、協議会独自にどのような活動が求められているのか、具体的に示さないと、コンセンサスが得られない。

(2) 事業計画について、『地域の会員は、本社の指示で動くので、権限のある本社レベルで協議会の在り方を整理した上で、地域ブロックが行う事柄を示してほしい。』という意見が大半であった。

(3) 各社によって、事情も異なり難しい問題であることは承知するが、緊急時に現場に任せる体制づくりが重要ではないか。

※上記を踏まえ、協議会としては、各ブロックの港湾ごとで、具体的に話し合いができる環境づくりに、ぜひ本社のご理解とご協力を頂きたい。

2. 各ブロックの港湾グループ区分の再確認について

(1) 各ブロックの港湾グループ区分の再確認をすることとしたい。

3. 別途、会員からの現在の会員構成についての意見

(1) 有事の際に、畜産農家への飼料の安定供給が必須となるが、現在の会員構成はすべての関係者が入会していない。このことはどう考えればよいか。

(2) また、会員として、運送関係、内航船等の関係者もこの仕組みに参画してもらわないと、飼料の安定供給は不可能ではないか。

(3) この意見に対し、最初から会員構成の枠を広げ、増やすよりも、現在の会員で共助の仕組み等を構築して、会員構成については、段階的に考えていけばよいのではないか。